



くきつと忘れられない、夏になる！

新型コロナウイルスの影響で中止や縮小を余儀なくされていた夏祭り。今年からは市内各地でコロナ禍前と同規模の夏祭りが開催され、たくさんの来場者の笑顔と活気にあふれ、にぎわいを取り戻していました。皆さんが楽しんだ国東市の夏を市報9月号に引き続き10月号でお届けします。今回、取材にご協力いただいた皆さんありがとうございました。

くきつと忘れられない、夏になる！

夏

第2弾

もやし公園お披露目夏祭り

国見ふるさと展示館入口で、もやし会(国見町子どもたち)が遊具から手作りした公園のお披露目夏祭りが開催されました。たくさん子どもたちが公園を走り回り、笑顔があふれていました。



むさし夏の夜まつり

今年で開催50回目を迎えた、むさし夏の夜まつり。4年ぶりに夜市も開催され、たくさんの屋台が並びました。夜まつりのクライマックスでは、約4,000発の打ち上げ花火がたくさんの観客を魅了しました。



第36回大権現祭

くみ海浜公園で大権現祭が開催され、昼の部は、宝探しやゴザ走り競争、夜の部は、ダンスや国東高校書道ガールのパフォーマンスなどで会場が盛り上がりました。プログラム最後の大花火大会では、色鮮やかな花火が次々と打ち上がりました。



西安岐地区夏祭り

西安岐地区の夏祭りが小川商店街で開催され、フォークバンドのライブや多くの出店でにぎわいを見せていました。また、子どもたちによる神輿なども繰り出し、「これぞ地元の夏祭り」という雰囲気での夜でした。(市民特派員中野さんからの情報)



第32回川遊びフェスティバル

5年ぶりに安岐川で川遊びフェスティバルが開催され、ゲーム大会などでにぎわいました。鮎つかみ捕り大会では、約4,000匹の鮎が大放流され、小さな子どもから大人までたくさんの方が鮎を追いかけました。

